


資料リスト
～学芸大生おすすめ本～

No	書影	書名	著者名	請求記号	資料ID	OPAC	紹介した人から
1		兎の眼	灰谷健次郎	913.6/HAI	12010008608 12011006559	https://library.u-gakugei.ac.jp/opac/volume/1176583	先生になる人は必ず読んでおくべき一冊だと感じました。(A類理科・4年)
2		ブルシット・ジョブ：クソどうでもいい仕事の理論	デヴィット・グレーバー	366/GRA	12020002539 12022001134	https://library.u-gakugei.ac.jp/opac/volume/1644108	教師という仕事、そして仕事とは何かということ、教育の世界の外側から理解できます。(A類社会・4年)
3		古典教育と古典文学研究を架橋する：国語科教員の古文教材化の手順	井浪真吾	375.8/INA	12020002792	https://library.u-gakugei.ac.jp/opac/volume/1647445	自分が研究していた文学研究が、教育研究にもつながり得るということをこの本で気づくことが出来ました。国語科生におすすめしたい一冊です。(A類国語・4年)
4		月の満ち欠け	佐藤正午	913.6/SAT	12017002039	https://library.u-gakugei.ac.jp/opac/volume/1580588	妻と子を同時に失った男と、かつてとある女性に許されない恋をした男が、ひとりの女性の存在によって交錯していくラブストーリー。映画で見るより本で読んだ方が絶対に面白い作品です。(A類国語・3年)
5		まなざしの地獄：尽きなく生きることの社会学	見田宗介	368.7/MIT	12013005130 10811567	https://library.u-gakugei.ac.jp/opac/volume/1136562	社会学をはじめて学ぼうとするひとであれば一度読んでほしい傑作。(A類社会・4年)
6		なぜ「大学は出ておきなさい」と言われるのか：キャリアにつながる学び方	浦坂純子	377.9/URA	10813757	https://library.u-gakugei.ac.jp/opac/volume/1139844	大学に来たけど何をしに来たか分からない、そんな人はこれを一読して見てほしい。そして考えてみるといい。(A類社会・2年)
7		レジリエンスは身につけられるか：個人差に応じた心のサポートのために	平野真理	146/HIR	12015003657	https://library.u-gakugei.ac.jp/opac/volume/1248147	レジリエンスに関する知識を得られます(A類理科・1年)
8		スタンフォードのストレスを力に変える教科書	ケリー・マクゴニカル	498.39/MCG	12015007597	https://library.u-gakugei.ac.jp/opac/volume/1253352	ストレスを悪く思う気持ちが変わります。(E類生涯学習・2年)
9		情報生産者になる	上野千鶴子	002.7/UEN	12020003653	https://library.u-gakugei.ac.jp/opac/volume/1656385	フィールドワークの方法や極意がわかります。授業観察をそのうちするようになるので、ぜひ。(A類社会・3年)
10		小説は、わかってくればおもしろい：文学研究の基本15講	小平麻衣子	910.26/ODA	12019002953	https://library.u-gakugei.ac.jp/opac/volume/1627177	小説の深い読み取りによって、そのおもしろさが倍増することが分かるだけでなく、そこから文学研究へと導いてくれる。(科目等履修生)
11		教育と他者：非対称性の倫理に向けて	橋本憲幸	370/HAS	12018004602	https://library.u-gakugei.ac.jp/opac/volume/1611514	そもそも私たちは、教育を行ってよいのか。行ってよいのであれば、それはなぜか——教育という行為そのものを問う刺激的な一冊です。難しいですが、読む価値があります。哲学です。(A類社会・4年)
12		教育格差：階層・地域・学歴	松岡亮二	372.107/MAT	12019002584	https://library.u-gakugei.ac.jp/opac/volume/1624622	教育格差を捉えるうえでとても重要な知見が詰まっているかと思えます。 教育学徒にぜひ。(A類学校教育・4年) 教員を目指す人全員に読んでほしい本です。教育の社会学を通して、自分の育った環境を振り返ってみてください！(A類社会・4年)
13		マット・鉄棒とび箱/水泳の指導：図解：健やかなからだを育てる	小学館	375.492/ONU	10703111	https://library.u-gakugei.ac.jp/opac/volume/1107040	図解が豊富で、これを指導案に貼り付ければイメージがともしやすくなります。 指導の工夫や実技のポイントも細かく記載されているので、体育が苦手だった学生や器械体操の記憶が無くなってしまった学生の強い味方となるでしょう！(A類ものづくり・3年)
14		実力も運のうち：能力主義は正義か？	マイケル・サンデル	361.8/SAN	12021000971	https://library.u-gakugei.ac.jp/opac/volume/1664473	大学に進学するということに対する捉え方が変わる本です。自分は努力家だと思う人こそ読んでほしいです！(A類社会・4年)
15		現場で使える教育社会学：教職のための「教育格差」入門	中村貴康・松岡亮二編	371.3/NAK	12021002537	https://library.u-gakugei.ac.jp/opac/volume/1674173	教員を目指すひとに必ず読んで欲しい本。あなたが教員になったときに「教育格差」という視点をもつのもたないのでは、大きな違いが生まれるだろう。(A類社会・4年)
16		教師と学校のレジリエンス：子どもの学びを支えるチーム力	クリストファー・デー、キン・グー	374.3/DAY	12015006878	https://library.u-gakugei.ac.jp/opac/volume/1252963	教師の立場からレジリエンスについて知見を得ることができます(A類理科・1年)
17		ジェンダー×小説ガイドブック：日本近現代文学の読み方	飯田祐子 小平麻衣子 編	910.26/HIT	12023001737	https://library.u-gakugei.ac.jp/opac/volume/1719253	文学をジェンダーの視点から問い直す。文学研究をする上で、おさえておきたい大切な点を提示してくれている。(科目等履修生)
18		脱学校の社会	イヴァン・イリッチ	372.53/I39	12010001351 37706837	https://library.u-gakugei.ac.jp/opac/volume/60142	学校が好きという気持ちで学芸に入ってきた人にぜひ読んで欲しいです。(A類学校教育・4年)
19		1時間の授業で子どもを育てるコミュニケーション術100	菊池省三	375.1 KIK	12016001254	https://library.u-gakugei.ac.jp/opac/volume/1256867	子どもに刺さる言葉遣いは、なかなか思いつきません。そんなとき、この本を参考に子どもたちと関わってみると、何か一つは自分にも使えるものがあると思います。(A類ものづくり・3年)
20		一人も見捨てない!菊池学級12か月の言葉かけ：コミュニケーション力を育てる指導ステップ	菊池省三	375.1/KIK	12021000869	https://library.u-gakugei.ac.jp/opac/volume/1663639	著者が自身の取組のなかから見出してきた、学級・授業づくりの土台となる具体的な言葉かけが紹介されています。読んでいただければフワクします。(A類ものづくり・3年)

資料リスト
～学芸大生おすすめ本～

No	書影	書名	著者名	請求記号	資料ID	OPAC	紹介した人から
21		論文の教室: レポートから卒論まで	戸田山和久	816.5/TOD	I2023001115 I2021004376	https://library.u-gakugei.ac.jp/opac/volume/1685766	論文の書き方の本は、結局この本がいちばんわかりやすいし面白いです!初めてのレポートを書く前にぜひ読んでみてください。(A類社会・4年)
22		授業の腕を上げる法則	向山洋一	375.1/MUK	I2023003768	https://library.u-gakugei.ac.jp/opac/volume/1731140	大学の授業で学ぶ理論と教育実習で学ぶ実践を繋げていくことができ、実践に不安になる人にとって一歩を踏み出せる一冊だと思う。(A類国語・3年)
23		代替医療解剖	サイモン・シン	492/SIN	I2023003772	https://library.u-gakugei.ac.jp/opac/volume/1731136	理科の中でも特に生物に興味がある方に読んでもらいたい一冊。 風説や誤謬をどうやってぶった切るか、この本を読めばなんとなくわかると思う。(A類理科・4年)
24		深い学び	田村学	375.1/TAM	I2018002212	https://library.u-gakugei.ac.jp/opac/volume/1597746	学習指導要領改訂に携わっていた、田村学自身による「深い学び」とはどういうものか、「深い学び」をどのように実現するのかについて書かれている。このような本は日常の授業とは直接結びつきづらい内容が多いが、本書は思考ツールなど授業に取り入れやすい要素が紹介されているため、実習前の指導案作成などにも役立つだろう。(学習サポーター)